

はじめに

『英文法授業ノート (Grammar Notebook)』は、中学や高校で学んだ英文法の知識を再確認しつつ、これから英語でコミュニケーションをとる能力を高めるための基礎を築くことを目的としたワークシート形式のテキストです。

ここで言うコミュニケーション能力とは、単に英会話力だけでなく、グループワークやディスカッションにおいて相手の意見を聞いて自分の考えを端的に発信したり、プレゼンテーションやディベートの準備あるいはレポート作成のための情報収集において、アカデミックな文章を読んで考えをまとめて発表したりする力も含まれます。いずれの活動においても、言語を正確に理解して運用するためには文法の知識は欠かせません。

学習者としては間違えることを恐れずに英語を使ってコミュニケーションを持続させるスキルも大切ですが、その場しのぎの英語で何とか切り抜けていくより、文法をしっかり学び表現を豊かにしていくことで、より深くコミュニケーションをとり、もっと自由に楽しく英語を使うことができれば素敵なことではないでしょうか。

本書は、このようなコミュニケーションのための英文法の学習を支援するテキストです。タイトルに「授業ノート」とある通り、英文法を一から学ぶ参考書というよりは、教室での「授業」における板書や解説を学習者が自分でまとめた「ノート」をイメージした構成となっています。そのため読み物としてではなく、授業で板書をノートに書き写すように手を動かしながら要点を確認し、例文とそれぞれ横に添えてあるワンポイント解説に目を通しながら英文を空欄に書き込んで完成させていくワークシートとして活用してください。

これまでの英語の授業でがんばってノートをとってきたものの、いつの間にかノートが複数冊になり、また教わる先生によって板書やプリント、解説の仕方も変わってくるため、すべての文法項目をまとめたノートを持っているという人は少ないのではないのでしょうか。本書は、神田外語大学にて開講されている英語科目 **Basic English I・II** にて実際に使用している「ハンドアウト～英文法編～」を1冊のノートに見立てたものです。これから英語を使っているいろいろなことにチャレンジしていこうとするみなさんに、基本となる文法の知識を確認し、実際のコミュニケーションの中で応用していけるように練習するためのノートとして役立てていただければ幸いです。

2018年7月

北村孝一郎

本書の使い方

中学校・高校の授業で扱われる英文法の中で主だった27項目を、さらに項目によっていくつかに分けて108のシートで取り上げています。文法項目の順序については、神田外語大学で開講されている英語科目 Basic English I・IIのシラバスに合わせていますが、自分の興味のある項目や授業で扱われている項目などを優先して取り組むこともできます。ただし、後の方にある項目では、それまでの項目で扱った内容を踏まえた説明や前出の形式を応用した例文が含まれることがありますので、全項目をまとめて学習するのであれば最初のページから順に進めていきましょう。

構成は、1つの項目に見開きで2ページ、左ページの説明／右ページの練習用シートから成り、それぞれ [要点]・[例文]・[ワンポイント解説]の大きく3つのパートに分かれています。なお、一部 [要点]、[例文]のみを取り上げているシートもあります。

※ 左ページの説明シート

001 **進行形**
Progressive/Continuous Tense

[要点]

現在進行形 ... 現在している途中の動作 を表す

現在形 ... 現在の習慣的・日常的な動作 を表す

時間のイメージ

・進行形 ※ 途中
I **am reading** a newspaper. 新聞を(今)読んでいるところだ

・現在形 I **read** a newspaper. 新聞を(日常的に)読んでいる

主な用法

① 進行中・継続中の動作	「～しているところだ」	※ まだ終わっていないというニュアンスを含む
② 近い未来の予定	「～する予定だ」	
③ ある状態への移行	「まさに～しかけている」	
④ 何度も繰り返される動作	「～してばかりいる」	
⑤ 一時的な・短期間の状態	「今のところは～している」	※ 流動的な状況 いつもと違う様子

形式

	be 動詞	+	現在分詞
現在進行形	am・is / are		～ing
過去進行形	was / were		～ing

※ 現在分詞 動詞に ing をつける

○ e で終わる場合	→ e をとって	cook → cooking
○ ie で終わる場合	→ ie を y にかえて	make → making
○ 短母音+子音字で終わる場合	→ 子音字を重ねて	lie → lying
		stop → stopping

[例文]

【例文】

- 今やっているところです[取り組んでいる最中です]。
I **am working** on it.
- あなたが電話をくれたとき、私は風呂に入っていました。
I **was taking** a bath when you called me.
- 来週シドニーに行きます。
I **am going** to Sydney next week.
- 携帯電話の電池が切れてしまいそうです。
My phone battery **is dying**.
- 彼はいつもアルバイトのことで文句を言っています。
He **is always complaining** about his part-time job.
- 私は(今のところ)東京に住んでいます。
I **am living** in Tokyo.
- なんだか今日はやけに優しいですね。
You **are being** very kind today.

※ 進行形の文にする手順

- 主語 (I) に呼応する be 動詞を選ぶ → am
- 動詞 (work) を現在分詞にする → working

※ 過去進行形は「過去のある時点」での行動を表すため「…が起こったとき」～をしていたと過去形とセットで使うのが基本

※ 近い未来の予定
その予定に向けて準備をしていることを表す

※ ある状態への移行・動作が終わりに近づいている途中
まだ残量はあるがゼロに向かっている状態を表す (≠ is dead)

※ 何度も繰り返される動作
話し手の(とくに不快な)感情を表すことが多い

※ 一時的な状態・短期間の状態
とりあえず今は仮の住まいとしてという意味を含む

You are kind. am / is / are
→ You are being kind. → being

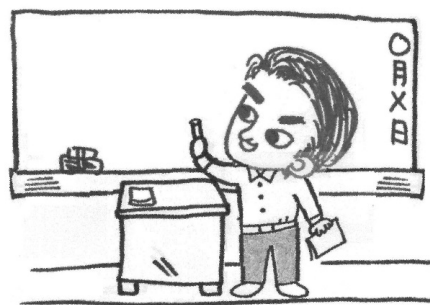
今日に限ったことで何かいつもと違うという意味を含む

[ワンポイント解説]

- iv -

[要点] 授業での「板書」をイメージして書かれており、文法項目の重要なポイントを簡潔にまとめてあります。

鍵となる情報については、右ページの練習用シートに空欄を設けてありますので、書き込みながら基本を1つ1つ確認して進めてください。要点だけ見てもよくわからない場合は、英文法の参考書等で適宜詳しい解説を読み直すようにしましょう。



[例文] それぞれの文法形式で表すことのできる基本文として、アカデミックな内容や試験対策に特化した英文ではなく、汎用性の高いものを掲載しています。

読んで理解するだけで済ませず、右ページの練習用シートに英文を書き、それを使えるようになるまで練習してください。さらに例文の一部（主語・動詞・目的語など）を書き換え自分自身や身の回りの事を表す内容にして、自分だけのオリジナルの台詞をつくっていきましょう。

※ 右ページの
練習用シート

【英作文】

6 私は（今のところ）東京に住んでいます。

例文通り **I'm living** in Tokyo.

→ **I'm living** in Makuhari.

→ **I'm staying** with my sister (until I find an apartment).

[ワンポイント解説] それぞれの例文について授業でよく質問される点を中心に解説をメモ書きしてあります。

文の構造・形式についての補足説明だけでなく、類似表現や微妙な意味の違いが生じる表現、間違いやすい用法の注意点など、様々な情報を添えています。なお、本書での説明は言語学的な厳密性よりも学習向けに実用に則したものとなっています。

実際のコミュニケーションでは、あるいは英語の授業においてさえ、失礼があったり誤解を招いたりするような重大な場面を除いては、英語を話している際に相手から文法の誤りを指摘されることはそう多くありません。普段の生活の中で英語を話す機会の多い人や長年英語を使って仕事をしている人でも、自分の英語の正確さを意識して修正することはあまりないものです。細かいミスに気を取られずにコミュニケーションをとれることも大切ですが、気づかないまま間違った文法形式を一生使い続けていくことにならないよう、流暢だけでなく正確さを高める学習の機会も大切にして取り組んでいきましょう。